



校長室だより

第 3 9 号

令和3年12月8日(水)

大崎市立沼部小学校

校長 吉田 浩之

いじめについて考えよう

7日(火)朝会がありました。子供たちに話した内容です。

(今回も両面になってしまいます。御容赦ください。)

今日は「いじめ」についてぬまっこのみんなと一緒に考えてみようと思います。

「いじめについてどう思いますか」と質問すると、だいたいは「いけないこと」と答えてくれます。「いじめ」はよくないこと、人を傷つける行動であることは誰もが知っています。なぜ、「いじめ」がなくなるのでしょうか。人間は一人では生きていけません。必ず家族以外の人と関わりをもつシーンが訪れます。学校はその際たる例で、合う合わない、好き嫌いに関係なく、誰かと一緒に行動することが求められます。

もちろん、どんな人ともうまくいくとは限らないでしょう。むしろ、うまくいかないことの方が多いかもかもしれません。だから、いじめが起こったり、陰で互いの愚痴や悪口を言い合ったりすることが、残念ですが、なくなるのです。

沼部小学校に「いじめ」はないと思いますか。残念ながら、みんなの中に「心ない言動」で傷ついたり、つらい思いをしたりしている友達もいるのです。

先生方も「いじめは決して許さない、決して見逃さない」ということを確認し合って、毎日みんなと接しています。朝、「おはよう」と声を掛けた時のみんなの返事、休み時間の会話や表情、給食を食べている時の様子などから、「困っている子はいないか」と、絶えず、一人一人のことを気にしています。「いじめ」は起こらない方がいいに決まっています。「いじめ」があった場合は、早く見つけて、早く解決しようとしています。先生方が気付かないということもあるかもしれないので、「いじめアンケート」を行っています。また、つらい気持ちになった時、相談できるように、スクールカウンセラーの先生にも来ていただいています。

社会全体でも、いじめを許さないために「いじめ防止対策推進法」という法律を作りました。それでも「いじめ」はなくなりません。どうしたら、「いじめ」はなくなるのでしょうか。校長先生は、この問いの答えを何年も考え続けてきました。今日、校長先生の考えをぬまっこに伝えます。ぬまっこも「いじめ」について自分なりの考えをもってほしいと思います。

まず、「いじめ」を受けた時や見かけた時の行動についてです。

- ① いじめられたら、「やめて」とはっきり意思表示をしよう。
- ② 困ったら相談しよう。一人じゃないよ。相談することは恥ずかしいことではありません。
- ③ 周りの人はただ見ているだけをやめよう「やめなよ。」と声に出そう。

次に普段から心掛けることについてです。

- ① 大切なことは言葉で直接伝えよう。相手の表情や声などから相手の気持ちを読み取ろう。
- ② 意見が食い違っていても、他の人の考えを受け入れよう。
- ③ クラスでは、誰もが思ったことが言え、それを認める温かな雰囲気を作ろう。ただ、思ったことをすぐに言葉にするのではなく、ちょっと考えてから言葉に出してみよう。

みんなが生きていく社会では、障害をもったひと、外国の人、自分の考えと違う人を受け入れることが大切なこととなります。ほかの人ととの違いを認めながら、自分らしさを発揮していく力が求められるようになります。ぬまっこ全員が「いじめ」を見た時にどうすればいいかを考え、勇気をもって実行すること、一人一人の違いを認める広い心をもった人間性を身に付けることが、いじめをなくすことだと校長先生は思っています。いじめのない学校、居心地のいい学校にするには、どうしたらいいかな。みんなも考えてほしいと思います。

人間は、どうしても他人より上に立ちたいと思うことが多くあります。自分の遺伝子を後世につなげていく必要があるため、他人より優位にいたいのだそうです。だから、いじめはどこでも起こりえることだと、文化人類学の先生がおっしゃっていました。だからと言って本校でいじめを容認するわけにはいきません。いじめは犯罪と同じです。友達の心に治りにくい深い傷を付けます。

ぬまっこは学年を問わず仲がいい。これは素晴らしいことです。ただ、沼部小学校にいじめはないと言い切れるかとなると、疑問を感じることもあります。何気ない一言に傷ついてしまうこともあります。みんなに考えてほしくてこの話をしました。

サククス四重奏を聴いたよ

これも7日のことです。4校時に音楽アウトリーチ事業の一環として、4年生が体育館で「Sendai Saxophone Quartet」による、サククス四重奏の演奏を聴きました。

クラシックを中心に東北民謡メドレーや、サウンドオブミュージックメドレーなどを演奏していただきました。サククスには、ソプラノ、アルト、テナー、バリトンがあり、その大きさや音の違いなどについても教えてもらいました。指揮者体験というのもさせていただきました。演奏する皆さんは、指揮者がいない中で演奏しています。ソプラノサククスの方が首を振ることで、演奏を始めるのだそうです。あとは、阿吽の呼吸なのでしょうね。すばらしい曲を聴いただけでなく、学ぶことが多かった1時間でした。やはり生の演奏を聴くことができることはいいことですね。

最後には多くの子供たちが感想を発表しました。たくさん発表してくれたことに「Sendai Saxophone Quartet」の皆さんは感激していました。

